

Resona *Premium Meeting* **りそな株主セミナー** **参加費 無料**

りそなグループでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象にセミナーを開催いたします。

第1部

マーケットセミナー

「国内外の景気動向とマーケット情報」

講師 黒瀬 浩一



りそな銀行 チーフマーケット・ストラテジスト(投資環境分析)
日経CNBC「昼エクスプレス」レギュラー・コメンテーター等、各種情報メディアにて執筆・出演。

第2部

トップが語るこれからの「りそな」

ジャーナリスト 福島 敦子氏



NHK、TBSなどで報道番組を担当。テレビ東京の経済番組や週刊誌「サンデー毎日」での連載対談をはじめ、日本経済新聞、経済誌など、これまでに700人を超える経営者取材。上場企業の社外取締役も務める。

[大阪] 800名程度
2018年2月13日(火) 13:30~16:00 (開場 13:00)
 会場：ハービスホール(大ホール) 大阪駅・梅田駅
 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行 社長
近畿大阪銀行 社長 中前 公志

[東京] 800名程度
2018年2月18日(日) 13:30~16:00 (開場 13:00)
 会場：TKPガーデンシティ品川(ボールルーム) 品川駅
 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行 社長

[埼玉] 500名程度
2018年3月2日(金) 13:30~16:00 (開場 13:00)
 会場：大宮ソニックシティ(小ホール) 大宮駅
 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行 社長
埼玉りそな銀行 社長 池田 一義

お申込み方法 同封のはがき「りそな株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、ご投函ください。

締切 **2017年12月25日(月) 消印有効**

【ご注意ください】

- 応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は2018年2月初旬までに郵送にてご案内します。電話等によるお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- 開催会場までの往復交通費は各自でご負担いただけます。(駐車場のご用意はありません。)
- やむを得ない理由で、内容変更または中止になることがあります。

お問い合わせ先 **りそな株主セミナー専用フリーダイヤル 0120-22-3989** **通話料 無料**
 受付期間: 2017年12月1日(金)~2018年3月2日(金)
 受付時間: 9:00~17:00(土・日・祝日・12月30日~1月3日を除く)

りそな **Today**

第17期 りそなグループ 中間報告書
 (2017年4月1日~2017年9月30日)



INDEX

Top Message.....02	りそなグループの業績.....12
TOPICS.....04	財務諸表/連結.....16
オムニチャネル戦略.....06	3行の概況/株式の状況.....18
個人のお客さま向けサービスの拡充.....08	株式事務のご案内/個人情報のお取り扱い.....20
中小企業のお客さま向け支援.....09	りそなの株主優待.....22
Sustainabilityへの取り組み.....10	りそな株主セミナー開催のお知らせ.....裏表紙

Resona *Premium Meeting* **りそな株主セミナー** **詳しくは裏表紙をご覧ください**

名称 株式会社 **りそなホールディングス** 証券コード 8308
 (英文名称 Resona Holdings, Inc.)
 所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)
 大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)



「リテールNo.1」の 金融サービスグループを 目指して

株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長

東
和
浩



株主の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期の日本経済は、雇用環境や堅調な海外経済を背景に、緩やかな回復基調を継続し、日経平均株価も2万円台まで上昇しました。一方、金融機関を取り巻く環境は、マイナス金利の影響もあり、大変厳しいものでした。

こうしたなか、りそなホールディングス連結ベースの実質業務純益は、債券関係損益と資金利益の減益を主因に、前年同期比171億円の減益となる1,086億円となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、与信費用が引き続き低水準であったことやグループ保証子会社再編に伴う影響などもあり、前年同期比で28億円の減少となり、期初目標を210億円上回る940億円となりました。こうした状

況を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益の通期目標を150億円上方修正し、1,650億円といたしました。なお、不良債権比率は1.27%、自己資本比率は11.59%と、引き続き健全な財務体質を維持しています。

中間配当は、普通株式1株当たり0.5円の増配となる10円とさせていただきました。これは、期初にお示した通り、普通株主への年間配当金を1株当たり1円増配し、20円とする方針に沿うものです。なお、第5種優先株式1,000億円につきましては、関係当局の確認を前提に、2017年度中の取得・消却を目指してまいります。

りそなグループは、2017年4月に公表した中期経営計画～Change to the “Next”～に基づき、資産形成サポートや決済といったビジネス領域における機能・ソリューションを拡充するなど、収益構造改革の実現に向けた取り組み

を加速しております。こうした取り組みに加え、7月には、シンガポールの金融機関を子会社化し、りそなマーチャントバンクアジアとして営業を開始、国際ビジネスを強化いたしました。11月には、みなと銀行、関西アーバン銀行、近畿大阪銀行の経営統合に向け、関西みらいフィナンシャルグループを設立し、関西経済の活性化や発展への貢献に向けた取り組みを着実に進展させております。

引き続き、私どもりそなグループは、「お客様の喜びがりそなの喜び」という基本姿勢を貫き、地域のお客様にもっとも支持され、ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融サービスグループを目指して、企業価値の最大化に努めてまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融 サービスグループを目指して

「関西みらいフィナンシャルグループ」創設!

みなと銀行、関西アーバン銀行、近畿大阪銀行は、「関西の未来とともに歩む新たなリテール金融サービスグループ」の実現に向け、2018年4月に持株会社「関西みらいフィナンシャルグループ」の下で経営統合を行うことを決定しました。

経営統合後の新グループは、上記3社を100%子会社とする関西最大にして全国でも有数の地域金融グループとなります。

本グループは、右記の経営理念のもと、「関西の未来とともに歩む新たなリテール金融サービスモデル」を構築し、関西経済への深度ある貢献を実現してまいります。



▲2017年9月26日 経営統合発表(りそなグループ大阪本社)

経営理念

関西の未来とともに歩む金融グループとして、
お客さまとともに成長します。
地域の豊かな未来を創造します。
変革に挑戦し進化し続けます。

目指すビジネスモデル

地域社会の発展・活性化への貢献

- 各行が培ってきた強みの共有
- ワンストップで高度な金融サービス、ソリューションの提供

関西の未来とともに歩む
新たなリテール金融サービスモデル

関西みらいフィナンシャルグループ
RESONA

みなと銀行 関西アーバン銀行 近畿大阪銀行

生産性とお客さま利便性の両立

- オペレーション改革のノウハウ共有
- 事務・システムの統合等

本邦有数の金融ボリュームに
相応しい収益性・効率性・健全性の実現

- 活力ある関西市場のポテンシャル
- スケールメリットによる優位性

シンガポールに新たな拠点 『りそなマーチャントバンクアジア』

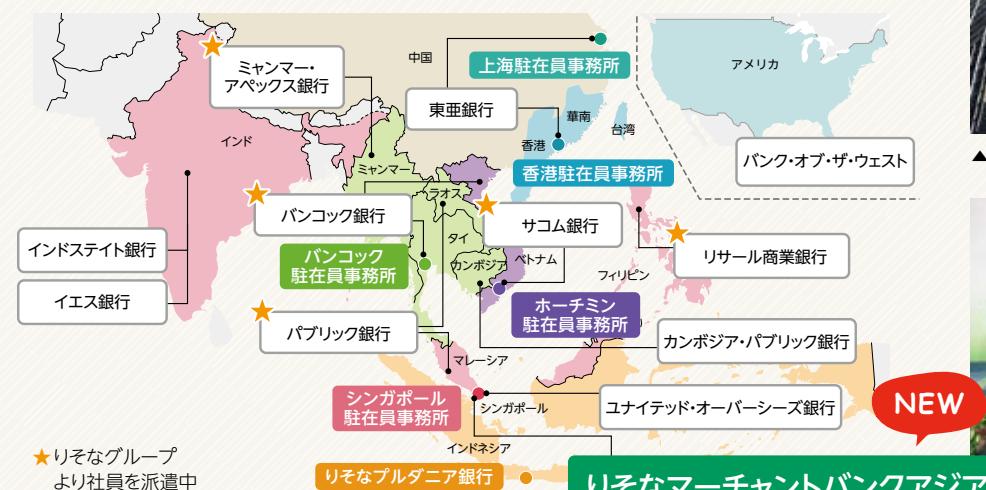
2017年7月、シンガポールの金融機関を子会社化し、りそなマーチャントバンクアジアとして営業を開始しました。

アジア各国の提携銀行、ソリューション提供企業(コンサ

ルティング企業、会計事務所等)との充実したネットワークを活用し、シンガポール及び周辺国(ASEAN各国及びインド)に進出する日系企業等のお客さまの成長ステージに応じた各種サービスを提供してまいります。

ご提供サービス

- ASEAN、インドでのご融資サービス
- 市場調査、提携先選定、現地企業への販路開拓等のコンサルティングサービス
- 現地企業の買収・売却等海外M&A仲介サービス



▲りそなマーチャントバンクアジア(シンガポール)



▲2017年9月18日 開業レセプション

オムニチャネルの進化 より多くのお客さまに「いつでも」「どこでも」を



2017年5月

「オムニチャネル戦略」における新型店舗が誕生! 年中無休でご相談いただける店舗はグループで18拠点に拡大

2017年5月、約20坪の店舗を少人数で運営する「相談特化型ミニ店舗」として「セブンデイズプラザ新宿西口」を開設いたしました。

2017年10～11月には、「つみたてプラザひらかた」「つみたてプラザやえす」を開設し、将来の資産形成に

ついてご相談いただける店舗は、グループで18拠点まで拡大しました。

今後、首都圏のターミナル駅などに出店を拡大していきます。

少人数で機動的な店舗展開を実現する新型店舗(セブンデイズプラザ新宿西口)



国内最大のターミナルである新宿駅に隣接するビルに開設。年中無休*で夜9時まで営業します。完全予約制ですので待ち時間なくご利用いただけます。
※年末年始・ゴールデンウィークは除きます。

関西

セブンデイズプラザ うめきた
セブンデイズプラザ あべのハルカス
セブンデイズプラザ KOBE
セブンデイズプラザ ひらかた
うめだプラザ nanoka
つみたてプラザひらかた

関東

セブンデイズプラザ しぶや
セブンデイズプラザ とよす
セブンデイズプラザ 横浜西口
セブンデイズプラザ たちかわ
セブンデイズプラザ いけぶくろ
セブンデイズプラザ 新宿西口
セブンデイズプラザ みなみこしがや
セブンデイズプラザ かわぐち
セブンデイズプラザ ほんかわごえ
セブンデイズプラザ おおみや
つみたてプラザやえす

中部

セブンデイズプラザ なごやえきまえ

(2017年11月末現在)

2017年10月

大手行初!ブランドデビット機能を 普通預金口座のキャッシュカードに標準装備

いつものキャッシュカードが「チャージ不要の電子マネー感覚」でご利用いただけるようになります。国内外のVisaが使える店舗で利用が可能で、手数料も無料*1です。

- 決済はカードを端末にピッとかざすだけ(Visaペイウェーブ)*2
- 海外のATMで現地通貨の引き出し可能
- パーソナライズ機能(利用限度額変更、一時利用停止)やVISA認証サービスで安心・安全



▲カードを端末にピッとかざすだけで決済

*1「リそなデビットカード」は年会費無料、「リそなデビットカード(JMB)」も初年度年会費は無料で、2年目以降は年1回以上のご利用で年会費が無料となります。

*2 Visa payWave(Visaペイウェーブ)は、対応するVisaカードを加盟店に設置された専用リーダー端末にかざすだけでお支払いが完了できるサービスで、日本国内を含む世界71の国と地域で展開されています。

Column

新CMスタート!!

お金に関する基礎知識・便利なこと・お得なことを分かりやすく丁寧に教えてくれる銀行であることをPRしています。

「マネーの知っとく塾」編▶



◀「リそなデビットカードドクター」編

お客さまに寄り添う 「トータルライフソリューション」



2017年10・11月

将来の資産形成を サポートする専門店を開設

2017年10月、大阪府枚方市に「つみたてプラザひらかた」を、11月には東京都中央区に「つみたてプラザやえす」を開設しました。税制メリットが大きく、有効な“つみたて”手段でもある“iDeCo(個人型確定拠出年金)”を中心に、ファイナンシャルプランナーがお客さまのライフプラン作りをお手伝いします。年中無休*で営業しており、お仕事帰りや休日にお気軽にお立ち寄りいただけます。

*年末年始・ゴールデンウィークは除きます。



▲つみたてプラザひらかた

2017年10月

新たな投資商品ラインナップ 「つみたてNISA」の取扱開始

「投資から資産形成へ」に向けた取り組みとして、2017年10月から「つみたてNISA」の申込受付を開始しました。投資初心者のお客さまにもわかりやすい商品を揃え、信託報酬を業界最低水準にすることで、お客さまの資産形成を長期的にサポートします。



▶ つみたてNISA
ポスター

「成長・再生・承継ソリューション」により お客さまの課題解決をサポート



2017年9月

「M&A業務プラットフォーム」への参加銀行は 27行になりました。(2017年9月末)

2016年11月に開始したM&A業務プラットフォーム(りそな銀行が運営)の本格稼働や、約30社の信託代理店を通じたサービス展開を進めていきます。りそなグループでは、フルラインの信託サービスを提供する本邦最大の信託併営商業銀行としてのソリューション機能をご提供することで、お客さまの承

継に関するお悩みを解決し、「承継ソリューションNo.1」ブランドを実現していきます。こうした取り組みを通じ、2020年3月期の承継関連収益は、2017年3月期比で約40億円の増益となる140億円を目指します。

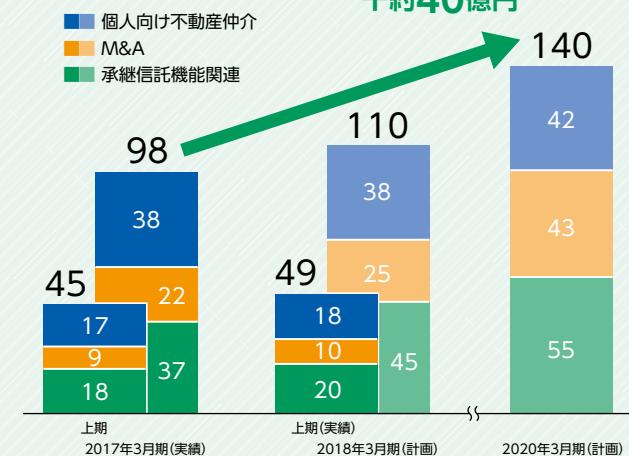
■ M&Aプラットフォームの本格稼働

りそなの法人取引先
40万社 → 参加先27行+αの
取引先へ拡大

■ 信託代理店を通じたサービス展開

りそなの個人・
法人お客さま基盤 → 代理店約30社+αの
取引先へ拡大

■ 承継関連収益(億円)



社会が直面する様々な課題の解決を通じて、持続可能な社会づくりに貢献します



2017年7月

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が選定したESG3指数全てに採用!

- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数
- ・ MSCI日本株女性活躍指数

りそなホールディングスは、GPIFがESG投資の運用にあたり選定した3つのESG指数の構成銘柄に採用されました。3つ全てに選ばれた企業は66社あり、銀行では当社のみでした。今後も社会課題の解決を通じた企業価値の向上と、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

主要なSRI指標

「FTSE4Good」や「モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRIインデックス)」の構成銘柄に、2009年9月以降連続採用されています!



▲モーニングスター社会的責任投資株価指数



▲FTSE4Good

2017年10月

「PRIDE指標2017」で最高評価のゴールドを受賞

企業等におけるLGBTなどの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE指標2017」。りそなグループは、最高評価である「ゴールド」を受賞しました。これからもダイバーシティ推進活動など、多様な人材が働きやすい組織づくりを推進していきます。



2017年7・8月

「りそなキッズマネーアカデミー」卒業生は約33,000名に!

今年は全国で230回開催、4,136名の子どもたちが参加しました。2005年から継続しているこの取り組みは、外部からも評価されています。

<2016年度受賞>

- 公益社団法人 日本フィランソロピー協会主催 「第14回企業フィランソロピー大賞」
- 文部科学省主催 「青少年の体験活動推進企業表彰審査委員会奨励賞」



Column

「全国特別支援学校文化祭」が文部科学大臣賞を受賞

特別支援学校に通う生徒の芸術・文化活動の充実と向上を図る「全国特別支援学校文化祭」。りそなグループでは、入賞作品の展示や、従業員のボランティア活動団体であるRe:Heart倶楽部による表彰式運営を担っています。このような取り組みが評価され、「障害者の生涯学習支援活動」文部科学大臣賞を受賞しました。



2017年11月

「第3回さいたま国際マラソン」1,000名を超える従業員が参加

りそなグループは、2015年から「さいたま国際マラソン」に特別協賛しています。第3回となる今年は、1,000名を超える従業員がボランティアとして参加し、大会を盛り上げました。



親会社株主に帰属する中間純利益は、940億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、与信費用が引き続き低水準であったことやグループ保証子会社再編に伴う財務影響等により、前年同期比で28億円の減益となりました。

■ 損益の状況 (りそなホールディングス連結) (単位:億円)

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	前年同期比
業務粗利益	3,076	2,980	2,788	△191
資金利益*1	2,032	1,882	1,839	△42
信託報酬	110	90	90	+0
役員取引等利益*2	771	755	754	△0
その他業務粗利益	162	252	103	△149
経費(除く銀行臨時処理分)	△1,710	△1,723	△1,703	+19
実質業務純益*3	1,368	1,257	1,086	△171
株式等関係損益(先物込)	23	16	43	+27
与信費用*4	△212	105	75	△29
その他損益等	34	△28	△69	△40
税金等調整前中間純利益	1,213	1,350	1,136	△214
税金費用ほか	△356	△381	△195	+186
親会社株主に帰属する中間純利益	857	969	940	△28

資金利益は、貸出金残高が前年同期比で増加した一方で利回りが低下したこと等から減少しました。

役員取引等利益は、保険、不動産収益の減益を、法人ソリューション収益等で補完し、ほぼ前年水準を確保しました。

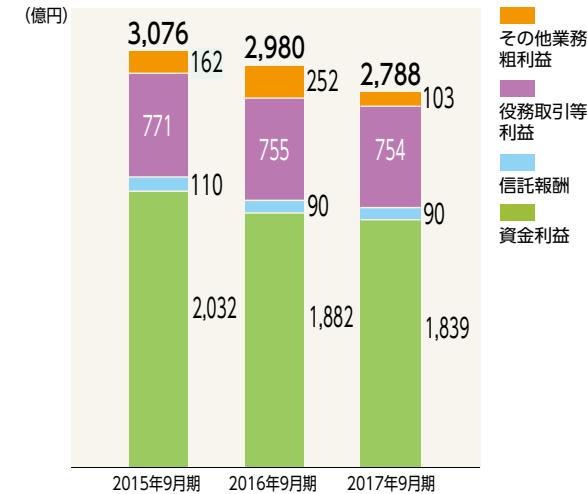
その他業務粗利益では、債券関係損益が減少しました。

与信費用は、新規発生が低水準であったこと等から戻入益を計上しました。

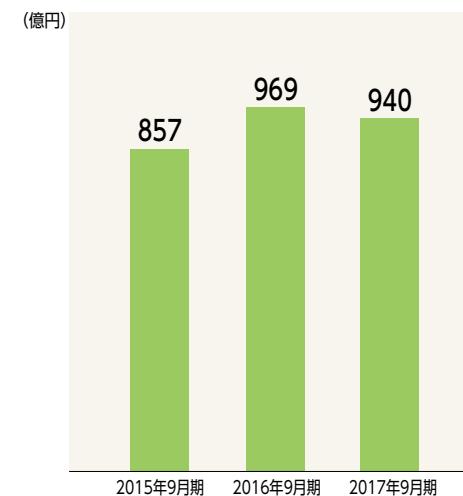
用語解説

- *1 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- *2 役員取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。
- *3 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- *4 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- *5 経費率 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

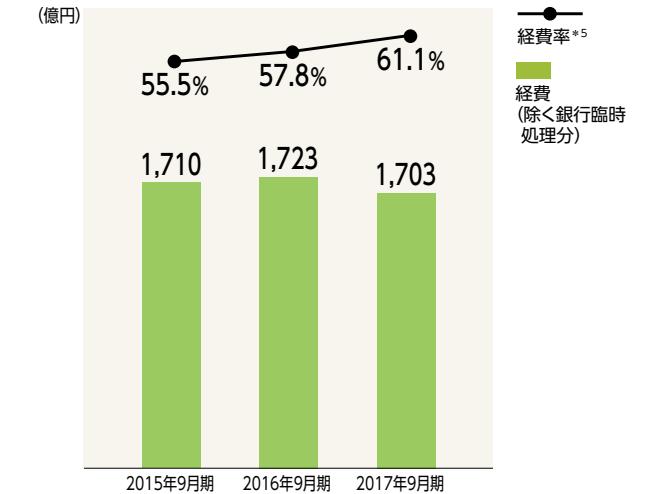
■ 業務粗利益



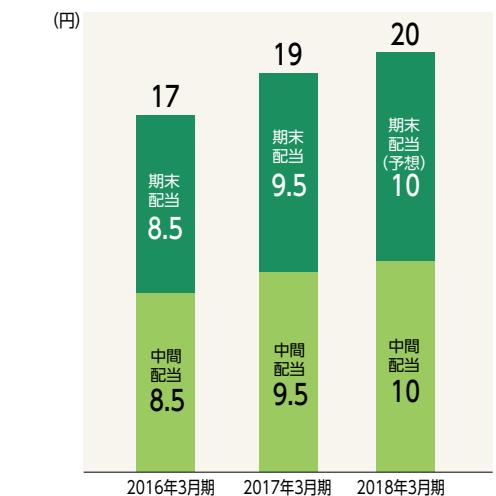
■ 親会社株主に帰属する中間純利益



■ 経費(除く銀行臨時処理分)



■ 普通株式1株当たり配当金

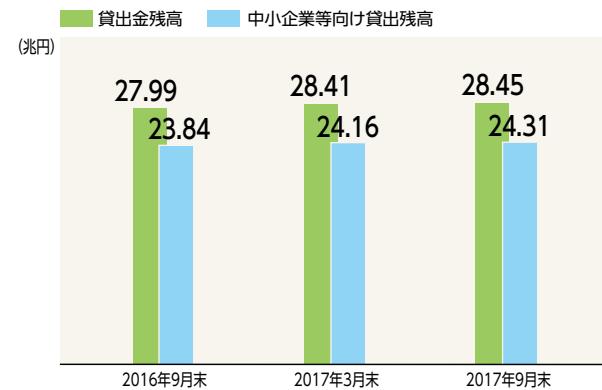


資産・負債の状況

貸出金残高は引き続き堅調に増加、不良債権比率、自己資本比率は引き続き健全な水準を維持しています。

■貸出金残高 (グループ銀行合算)

貸出金残高は、前年同月比で約1.6%の増加となりました。



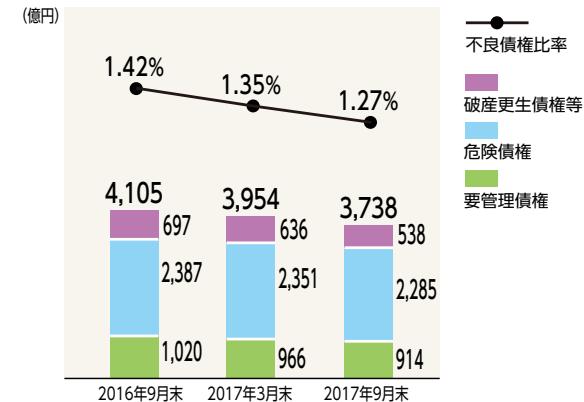
■預金残高 (グループ銀行合算)

預金残高は、増加基調が継続しています。



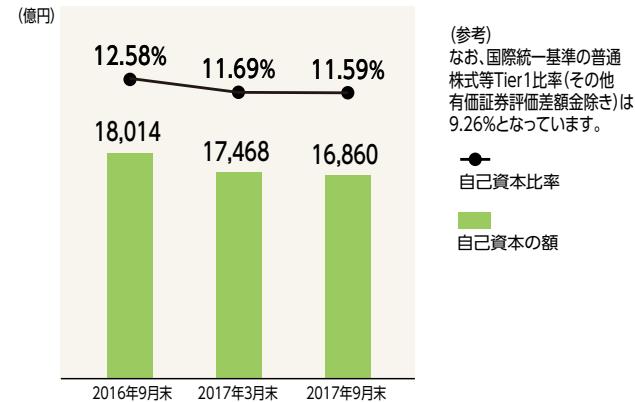
■不良債権および不良債権比率 (グループ銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.27%と、引き続き健全な水準を維持しています。



■自己資本比率 (りそなホールディングス連結)

自己資本比率(国内基準)は、規制上必要な4%を十分に確保する11.59%と、健全な水準を維持しています。

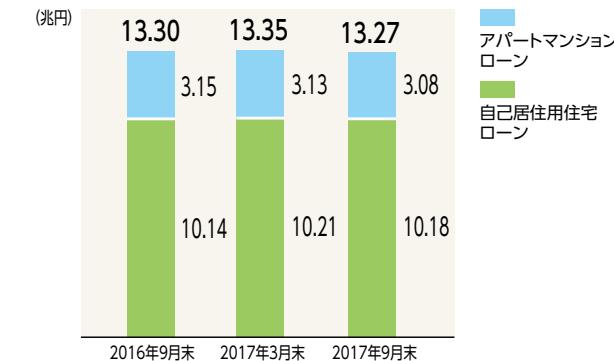


主要ビジネス

オムニ・アドバイザーとして、個人のお客さま向けのトータルライフソリューション、法人のお客さま向けの成長・再生・承継ソリューションに取り組んでいます。

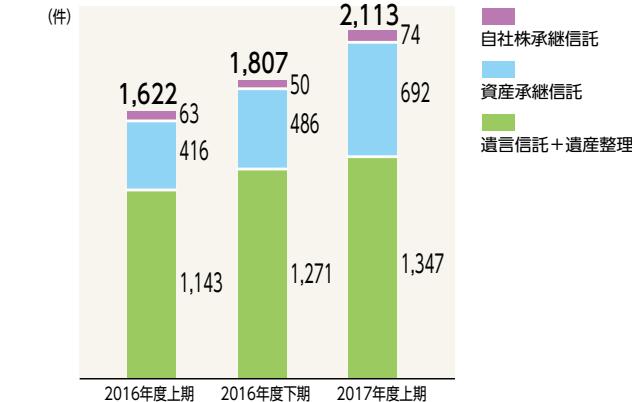
■住宅ローン残高 (グループ銀行合算)

お借換えニーズが一服したこと等により、残高はほぼ横ばいとなりました。



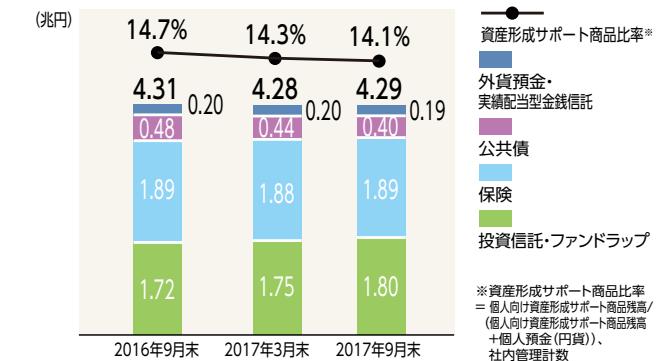
■資産承継 新規利用件数 (りそな銀行)

グループ銀行による信託機能を活用したソリューション提供が増加しました。



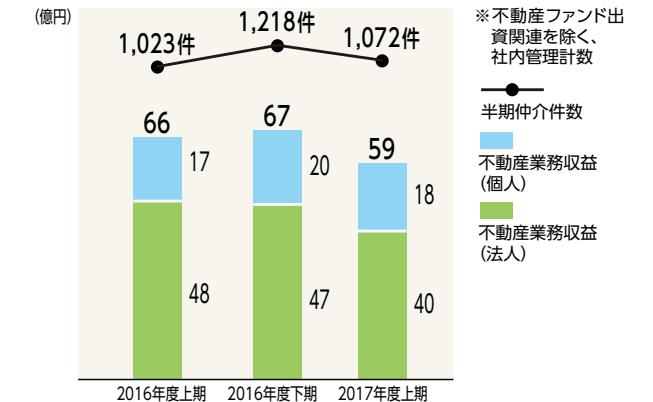
■個人向け資産形成サポート商品残高 (グループ銀行合算)

2017年2月に取扱開始したファンドラップの残高は1,500億円を超えました。



■不動産業務 (りそな銀行)

個人のお客さま向けは前年同期比で増加、法人のお客さま向けは減少しました。



財務諸表 / 連結

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■ 中間連結貸借対照表 (単位:億円)

	2017年3月31日現在	2017年9月30日現在
資産の部		
現金預け金	126,419	129,085
コールローン及び買入手形	1,565	1,202
買入金銭債権	3,553	3,467
特定取引資産	3,485	3,120
金銭の信託	10	—
有価証券	52,957	51,380
貸出金	281,867	282,334
外国為替	954	1,015
その他資産	7,706	10,143
有形固定資産	3,040	3,029
無形固定資産	313	297
退職給付に係る資産	168	178
繰延税金資産	17	19
支払承諾見返	4,185	3,883
貸倒引当金	△1,684	△1,579
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	484,561	487,579

	2017年3月31日現在	2017年9月30日現在
負債の部		
預金	406,753	412,871
譲渡性預金	9,655	9,994
コールマネー及び売渡手形	7,093	2,819
売現先勘定	50	50
債券貸借取引受入担保金	4,292	5,968
特定取引負債	1,848	1,531
借入金	6,992	7,266
外国為替	24	30
社債	4,563	4,051
信託勘定借	10,153	9,847
その他負債	8,297	7,456
賞与引当金	161	122
退職給付に係る負債	126	101
その他の引当金	445	478
繰延税金負債	247	428
再評価に係る繰延税金負債	201	201
支払承諾	4,185	3,883
負債の部合計	465,093	467,102
純資産の部		
資本金	504	504
利益剰余金	14,361	15,063
自己株式	△11	△56
株主資本合計	14,854	15,511
その他有価証券評価差額金	4,147	4,481
繰延ヘッジ損益	404	365
土地再評価差額金	440	439
為替換算調整勘定	△31	△38
退職給付に係る調整累計額	△526	△461
その他の包括利益累計額合計	4,434	4,786
非支配株主持分	178	177
純資産の部合計	19,467	20,476
負債及び純資産の部合計	484,561	487,579

■ 中間連結損益計算書 (単位:億円)

	自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
経常収益	3,905	3,653
資金運用収益	2,020	1,994
(うち貸出金利息)	(1,635)	(1,539)
(うち有価証券利息配当金)	(226)	(290)
信託報酬	90	90
役員取引等収益	1,004	998
特定取引収益	52	33
その他業務収益	242	149
その他経常収益	495	387
経常費用	2,574	2,511
資金調達費用	138	154
(うち預金利息)	(50)	(65)
役員取引等費用	249	243
特定取引費用	0	1
その他業務費用	41	78
営業経費	1,810	1,801
その他経常費用	334	232
経常利益	1,330	1,141

	自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
特別利益	31	9
固定資産処分益	31	9
特別損失	11	15
固定資産処分損	6	4
減損損失	4	11
税金等調整前中間純利益	1,350	1,136
法人税、住民税及び事業税	337	163
法人税等調整額	29	23
法人税等合計	366	187
中間純利益	984	948
非支配株主に帰属する中間純利益	14	8
親会社株主に帰属する中間純利益	969	940

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (単位:億円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	504	—	14,361	△11	14,854	4,147	404	440	△31	△526	4,434	178	19,467
当中間期変動額													
剰余金の配当			△239		△239								△239
親会社株主に帰属する中間純利益			940		940								940
自己株式の取得				△54	△54								△54
自己株式の処分				9	9								9
利益剰余金から資本剰余金への振替			0	△0	—								—
土地再評価差額金の取崩			0		0								0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						333	△38	△0	△7	64	352	△0	351
当中間期変動額合計	—	—	702	△45	657	333	△38	△0	△7	64	352	△0	1,008
当中間期末残高	504	—	15,063	△56	15,511	4,481	365	439	△38	△461	4,786	177	20,476

3行の概況

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■りそな銀行

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
業務粗利益	1,871	3,522	1,737
経費	△ 1,071	△ 2,142	△ 1,055
実質業務純益*1	800	1,379	682
与信費用	59	147	61
中間(当期)純利益	608	1,013	1,061

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
貸出金*	185,349	188,758	189,048
預金・譲渡性預金	248,459	260,680	265,083

*貸出金は銀行勘定、信託勘定の合算です。

	2016年9月末	2017年3月末	2017年9月末
自己資本の額	12,734	12,013	11,505
リスク・アセット等*2	104,853	108,907	104,820
自己資本比率(%)	12.14	11.03	10.97

■近畿大阪銀行

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
業務粗利益	219	433	254
経費	△ 187	△ 376	△ 183
実質業務純益*1	32	57	70
与信費用	22	26	7
中間(当期)純利益	52	75	75

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
貸出金	24,211	24,405	24,198
預金・譲渡性預金	33,335	32,945	33,779

	2016年9月末	2017年3月末	2017年9月末
自己資本の額	1,542	1,546	1,567
リスク・アセット等*3	13,575	13,423	13,185
自己資本比率(%)	11.36	11.51	11.88

■埼玉りそな銀行

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
業務粗利益	662	1,221	620
経費	△ 374	△ 748	△ 370
実質業務純益*1	288	472	250
与信費用	3	8	21
中間(当期)純利益	213	347	313

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
貸出金	70,437	70,956	71,351
預金・譲渡性預金	123,581	128,028	129,244

	2016年9月末	2017年3月末	2017年9月末
自己資本の額	4,008	3,330	3,390
リスク・アセット等*2	27,195	28,757	27,865
自己資本比率(%)	14.73	11.58	12.16

【ご参考】グループ銀行(単体)の合算

グループ銀行合算の業務粗利益は、債券関係損益の減少を主要因として2,612億円(前年同期比△141億円)となりました。また、与信費用が90億円の戻入(前年同期比+3億円)となったほか、株式関係損益が前年同期比525億増加して635億円(うち529億円は連結消去対象)となったことなどにより、中間純利益は、1,449億円(前年同期比+576億円)となりました。

	2016年9月期	2017年3月期	2017年9月期
業務粗利益	2,754	5,177	2,612
経費	△ 1,633	△ 3,267	△ 1,609
実質業務純益*1	1,120	1,909	1,002
与信費用	86	182	90
中間(当期)純利益	873	1,435	1,449

(※1) 実質業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

(※2) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

(※3) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

株式の状況

2017年9月30日現在

発行済株式総数 2,328,118,091株 (うち普通株式2,324,118,091株、優先株式4,000,000株)

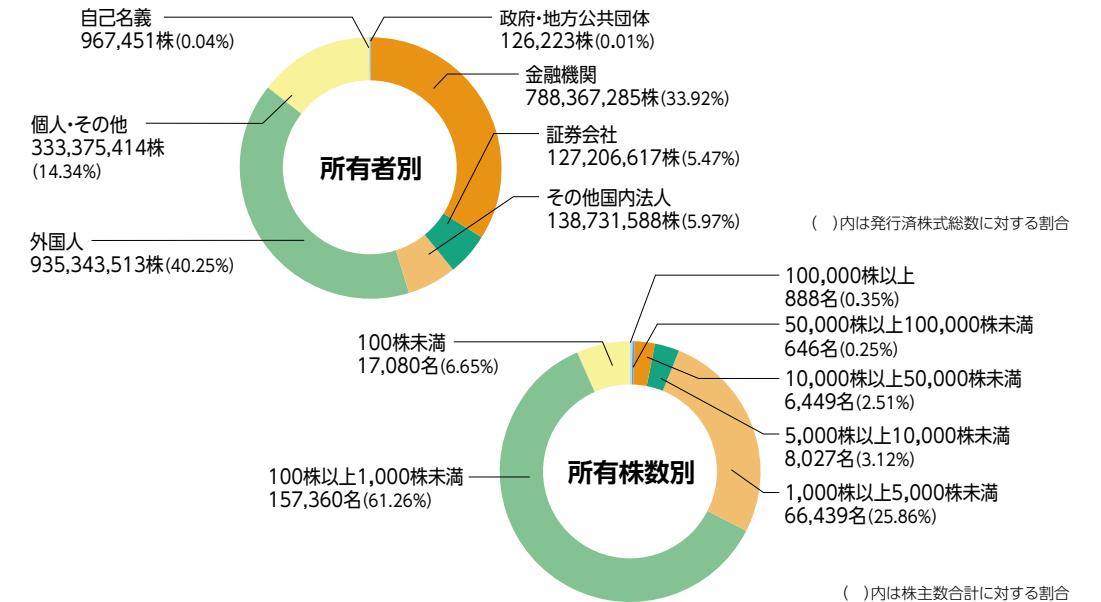
株主数 普通株式 256,889名

大株主 (上位10位)

普通株式

株主の氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	125,241	5.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	108,428	4.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	95,079	4.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	66,289	2.85
日本生命保険相互会社	65,488	2.81
AMUNDI GROUP	45,133	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	40,870	1.75
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	37,423	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	34,985	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	31,678	1.36

普通株式の分布状況



株式事務のご案内

決算期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。
配当金	基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) http://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/
単元株式数	単元株式数は100株です。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先		
<ul style="list-style-type: none"> ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社	
	郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
	電話番号	 0120-782-031	
	インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
<ul style="list-style-type: none"> ●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。 	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社 □座を開設されている証券会社にお問い合わせください。	
	特別口座*の場合	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	 0120-782-031

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

(3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1.記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3.記載のご連絡先までご連絡ください。

(1) 共同利用者の範囲

- 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社近畿大阪銀行

(2) 共同利用する個人データの項目

- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

(3) 共同利用者の利用目的

- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 個人データの管理責任者の名称

- 株式会社りそなホールディングス(当社)

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 03-6704-3111(代表)

大阪 06-6268-7400(代表)

受付時間 9:00～17:00(銀行休業日を除く)

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社にご連絡をいただいた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

りそなの株主優待

りそなの株主優待は保有株式数に応じてりそなグループのクラブポイントを進呈します。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・近畿大阪銀行に個人名義の普通預金口座およびポイントサービスへのご入会が必要です。また適用には所定の条件があります。

銀行を賢く
使いこなそう!



●ポイントサービス(クラブポイント)とは?

りそなグループ各銀行とのお取引でためたポイントをパートナー企業のいろいろなポイントやマイルに交換できたり、手数料等の優遇を受けられる会費無料のポイントサービスです。

保有株式数	毎月
500株未満	20ポイント
500株以上 4,000株未満	100株ごとに 5ポイント加算
4,000株以上	200ポイント



ポイントがたまる!

※ポイントは、給与・年金のお受取り口座へのご指定や積立定期の預け入れなど、銀行をご利用いただくことでさらにたまります。

優遇をうける!

りそなグループ
ATM手数料無料^{など}

ポイントを使う!

たまったポイントを
パートナー企業の
ポイント等に交換!



株主優待の利用口座を簡単に作れます

株主優待を利用するために口座を開きたいけれど、...

時間がなくてなかなか店舗に行けない

近くにりそなグループの店舗がない

そんな株主さまに、
うれしいサービス
できました!

さらに



Visaデビット機能
+
キャッシュカード

りそな
スマート口座

印鑑不要
スマホアプリで簡単に
口座開設が
可能です

かわいい
「りそな」デザインで
年会費が
無料です

Visaデビット機能付きでショッピングや、お取引きでも《りそなクラブポイント》がたまる!!

※JALのマイルがたまる、「りそなJALスマート口座」もごございます。年会費等の詳細は、りそな銀行ホームページでご確認ください。



口座開設アプリのダウンロードはこちらから



スマート口座に関する注意事項

- 15歳以上の個人のお客さまがお申込みいただけます。
- りそなスマート口座(以下、本サービス)はお一人さま1口座のみのお取扱いです。
- 本サービスは、口座開設(りそなTIMO)と同時に「マイゲート」(インターネットバンキング)「りそなクラブ」「りそなデビットカード」をお申込みいただけます。いずれかを解約することはできません。その場合、普通預金を含む全てのお取引を解約いただくこととなります。詳細は商品概要説明書をご参照ください。
- 運転免許証以外でお申込みの場合は、りそな銀行ホームページより資料請求していただきお手続きいただくことが可能です。

2017年度の申込締切日は、**2017年12月31日(日)**(消印有効)です!

※2017年3月末時点の株式1単元(100株)以上を保有の株主さまが対象

※Web(マイゲート)申込は2018年3月31日(土)まで可能です。

※対象の株主さまには2017年6月に株主優待券兼株主優待申込書を郵送しています。

株主優待専用ダイヤル(通話料無料)

0120-13-1036

受付時間:9:00~17:00
(土・日・祝日・12月30日~1月3日を除く)

毎年お申込みが必要
お済みでない方は
お急ぎください!

